

2020 年 9 月 14 日改訂版

開館記念 秋冬プログラム

次回展予告

小沢剛展 オールリターン

—百年たったら帰っておいで 百年たてばその意味わかる

会期：2020 年 10 月 10 日（土） - 2021 年 3 月 21 日（日）

風景の中に自作の地蔵を建立し写真に収める《地蔵建立》や、日本美術史上の名作を醤油で描いてリメイクした《醤油画資料館》など数々のシリーズ作品を発表し、世界的に活躍する現代アーティストの小沢剛。近年はグローバルに活躍した近現代の人物を題材に事実とフィクションを交え、絵画、映像、音楽で構成される《帰って来た》シリーズに取り組んでいます。同シリーズでは、これまでに野口英世、藤田嗣治、岡倉天心などに注目し、ガーナ、インドネシア、インドなど世界各地へ小沢自らが取材に訪れて現地のアーティストたちとの共同制作を行ってきました。

このたびの東北地方初となる大規模な個展に際し、作家は弘前ゆかりの近現代の人物「S.T.」を題材とした、本シリーズの新作を構想しました。イランの看板職人やミュージシャンらの協力を得て制作されたこの新作とともに、2013 年より開始されたシリーズ全 5 作品を新たに構成し直し一挙に公開。歴史上の偉人たちのあまり知られていない側面に光を当て、文化の違いや時空を超えて、我々の生きる「今」についての思索を促す《帰って来た》シリーズを包括的に捉えます。

約 100 年の時間を経て美術館として再生され「帰って来た」弘前れんが倉庫美術館において、大々的に開催される本展は、歴史の再考や未来の行方だけでなく、コロナ禍で旅や直接的な交流が制限されるなか、協働作業の可能性やコミュニケーションの在り方、さらには、芸術作品のかたちや土地や人との繋がりについても考えるまたとない機会になるでしょう。



《帰って来た S.T.》（部分） 2020 年

展覧会のみどころ

1. 弘前ゆかりの人物を題材とした大型の新作を発表

小沢剛は 2018 年より弘前れんが倉庫美術館のための新作構想に着手。弘前、青森県内、イランでのリサーチや協力者との議論、東京藝術大学や弘前市内の学生らとのワークショップ展示等を経て制作を進めてきました。約 2 年の歳月をかけて完成した絵画と映像などからなる新作が、吹き抜けのダイナミックな空間に展開されます。



《帰って来た K.T.O.》(部分) 2017 年
撮影：椎木静寧

2. 《帰って来た》シリーズ全 5 作品を再構成して公開

本展では、2013 年から 2020 年にかけて制作された《帰って来た》シリーズ全 5 作品を通して、シリーズの全体像に迫ります。その際、それぞれ独立した作品ながら、異なる映像を連動させることで、元煉瓦倉庫の空間を生かした劇場型のインスタレーションとして、この場所ならではの新たな鑑賞体験を提案します。



《帰って来た J.L.》(部分) 2016 年

3. 全シリーズのドキュメント資料を初公開

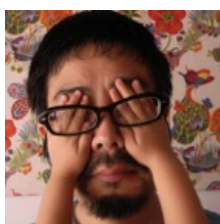
本シリーズでは、旅を通じた様々な協力者たちとの出会いや交流から、物語、歌、絵画、映像が生み出されていきます。各地のコーディネーターや様々な研究者、ミュージシャンらとともに作り上げられた全シリーズの旅の記録写真や参考書籍などを初めて公開。作品制作の裏側や制作プロセスを通して、より多角的にシリーズの意味や可能性について考えます。



《帰って来たペインターF》(部分) 2015 年
撮影：椎木静寧

本プログラム中の「弘前エクステンジ」は、弘前生まれの歌人・劇作家である寺山修司に注目します。また、会期中を通してトークイベントやワークショップ等も開催を予定しています。（詳細は後日発表）

【アーティスト紹介】



小沢剛 / OZAWA Tsuyoshi

1965 年、東京都生まれ、埼玉県在住。ユーモアを交えながら歴史や社会を鋭く批評する作品を絵画、写真、映像、インスタレーション、ワークショップなど、多様な手法で制作し、国内外で高い評価を得ている。第 69 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞(2019 年)。



《帰って来た Dr.N》(2013 年) の制作風景

開催概要

- ｜プログラム名： 弘前れんが倉庫美術館 開館記念 秋冬プログラム
小沢剛展 オールリターン
一百年たったら帰っておいで 百年たてばその意味わかる
※展覧会名が変更になりました。
- ｜会期： 2020 年 10 月 10 日（土） - 2021 年 3 月 21 日（日）
- ｜開館時間： 9:00 - 17:00（入館は閉館の 30 分前まで）
- ｜休館日： 火曜日（祝日の場合は翌日に振替）
年末年始（12 月 26 日（土） - 1 月 1 日（金）まで）
- ｜観覧料： 一般 1,300 円（1,200 円） 大学生・専門学校生 1,000 円（900 円）
※（ ）内は 20 名様以上の団体料金
※ 以下の方は無料
高校生以下の方/弘前市内の留学生の方/満 65 歳以上の弘前市民の方
ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方/障がいのある方と付添の方 1 名
- ｜主催： 弘前れんが倉庫美術館
- ｜特別協賛： スターツコーポレーション株式会社
- ｜協賛： 株式会社 NTT ファシリティーズ
- ｜ゲスト・キュレーター： 三木あき子
- ｜会場： 弘前れんが倉庫美術館 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1
- ｜一般問合せ： TEL: 0172-32-8950
- ｜アクセス： JR 弘前駅より
- 弘南バス・土手町循環 100 円バス「中土手町」下車 徒歩 約 4 分
- 徒歩 約 20 分
- タクシー 約 7 分
- ｜ウェブサイト： <http://www.hirosaki-moca.jp>
- ｜SNS： Instagram：@hirosaki_moca Twitter：@hirosaki_moca Facebook：@hirosaki.moca

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川（公）

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

FAX:0172-55-5982 または E-MAIL press@hirosaki-moca.jp

2020 年 9 月 14 日改訂版

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）

小沢剛展 オールリターン —百年たったら帰っておいで 百年たてばその意味わかる

会期：2020 年 10 月 10 日（土） - 3 月 21 日（日）

広報画像貸出書

▼貴媒体についてお知らせください。

媒体名	貴社名	
ご担当者	所属部署	
ご住所 〒		
電話番号	FAX 番号	E-MAIL
掲載・放映の予定が決まっていたらお知らせください。		

読者プレゼントのご希望 ☐希望する 組 名様（2020 年 12 月 31 日迄 掲載対象） ☐希望しない
* 画像 1 点以上ご掲載の場合、本展の招待券 10 枚まで提供します。 / 美術館までの交通費は自己負担のご案内をお願いします。

▼広報画像は、希望される画像の番号に「○」で印をつけてください

[1]



[2]



[3]



[4]



[5]



広報画像にはすべて以下キャプション・クレジットを併記してください

- [1] 小沢剛《帰って来た S.T.》（部分） 2020 年
- [2] 小沢剛《帰って来た K.T.O.》（部分） 2017 年 撮影：椎木静寧
- [3] 小沢剛《帰って来た J.L.》（部分） 2016 年
- [4] 小沢剛《帰って来たペインターF》（部分） 2015 年 撮影：椎木静寧
- [5] 小沢剛《帰って来た Dr.N》（2013 年）の制作風景

<広報画像、取扱に関する規定>

- 広報画像の使用は美術館をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
- 広報画像をご紹介いただく場合、指定のキャプションとクレジットを必ずご記載ください。
- 全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせは原則禁止となっております。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、可能な範囲でグラ刷り・原稿の段階で広報まで FAX またはメールでお送りください。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川（公）

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-